諏訪市民新聞

発行所
〒392-0022 諏訪市高島2
諏訪市民新聞社
電話 代表52・3400
FAX 57・0117
www.shimin.co.jp
E-mail
suwa@shimin.co.jp
©諏訪市民新聞社 2026年
定価1カ月2,000円
1部売り90円（税込み）
本紙をお届けする販売店
浜新聞店 ☎52-1107
読売センター諏訪店 ☎27-3883
[]茅野地区[]
信毎ふれあいネット茅野 ☎72-4198
コンビニもご利用ください

美容室が「帽子の森」に

東京の須田京子さん 110点 四賀で28日まで

諏訪湖がお気に入りの帽子作家、須田京子さん（東京都）が創作した個性あふれる帽子110点を紹介する「帽子の森」がきょう26日から28日（月）まで、諏訪市四賀武津の美容室「ヘアーコンポーザービーム」で開かれる。オーナーの美容師でアーティストでもある後藤吉久さんも、絵画25点を並べるなどで会場を演出。魅力的な帽子との出合いを後押しをする。



個性的な帽子が並ぶビーム店内と須田さん㊧、後藤さん

須田さんは帽子の学校スダシャポー学院長を務め、初心者に指導する一方で、帽子の創作に30年以上力を入れている。2021年から諏訪湖を目的に来訪を重ね、さまざまな人々と出会って諏訪の歴史に触れた。23年に八剣神社で開いた後藤さんの作品展を機に2人は出会い、24年に諏訪、東京で開いた須田さんの帽子イベントでも協力している。

諏訪では2回目となる作品展で、型紙から作る布帽子、木型を使って作る型物帽子をそろえる。布帽子は、春夏はコットンや麻、秋冬はウールやフリースなどの素材を使った。中には畳のへりや着物地を素材にした物もある。空から落ちた星がヒントになったというイメージで、帽子の縁に本物のヒシをあしらったり、落ち葉を連想させたりと独創的な帽子も楽しめる。

26日午後、27日（日）には帽子のかぶり方や心理的効果などを伝える「すてきにかぶる♪帽子体験ツアー」を随時開く。須田さんは「すてきな帽子との出合いは、新たな力を感じさせてくれる。かぶり方の違いでさまざまな表情を作り出すことができる。そのこつをお伝えしたい」と話す。予約優先。参加費500円。体験ツアーの問い合わせは須田さん（電080・3309・0895）へ。

両日にemmaさん（東京都）のクリスタルボウルの演奏もある。

開催時間は午前10時～午後5時（最終日は2時）。問い合わせはビーム（電0266・57・0090）へ。

秋の風情楽しんで

きょう、あす 山野草展 トキソウ会

諏訪市内の山野草愛好者でつくるトキソウ会（宮嶋功会長）はきょう26日から2日間、「秋の山野草展」を豊田公民館で開く。会員7人が丹精して育てた約110点が並び、会場は秋の風情に包まれる。＝写真。

山野草展は毎年春と秋に開く。今回はイワシャジンやダイモンジソウ、モミジの寄せ植え、リンドウと菊、スズキの取り合わせをはじめ、赤い実を付けたツリバナやカマツカなど、野趣あふれる山野草が花器や花台と共に楽しめる。

同会は30年以上活動し、月1回同公民館に集まって、会員の藤森正勝さん（渋崎）のアドバイスを受けて技術を高める。宮嶋会長（78）＝湖南＝は「ことしも暑い日が続いたり、長雨などの天候で育てにくい環境にあったりした。会員たちの管理の成果で、良いものが並んだ」と来場を呼びかける。入場無料。



事故再現に息のむ